

平成 31 年 4 月 11 日

保護者の皆様

「学びに向かう力」の育成をめざした教育活動について

枚方市立招提北中学校
校長 山本 俊夫

春暖の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。
さて、先日、文部科学省から新学習指導要領の主旨が示されたパンフレットを
配付いたしました。その中の一文を抜粋します。

**学校で学んだことが、子供たちの『生きる力』となって
明日に、そしてその先の人生につながってほしい**

**これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し
それぞれの思い描く幸せを実現してほしい**

そして、明るい未来を、共に創っていきたい

ここに文部科学省が今回の改訂に込めた思いがはっきりと示されています。

今回の改訂は、これまでの「どれだけの知識を覚えられるか、覚えられたか」
が問われていた「学力観」から大きく転換を図り、「『**自ら課題を見付け、自ら
学び、自ら考え、判断して行動**』できる『**資質・能力**』の育成」を柱としていま
す。つまり「得られた知識・技能をどう活用していくか」「多様な意見を聞く中
で、自分の考えをしっかりと持ち、どのように発信していくか」「社会・世界の
中で通用するコミュニケーション能力が身についているか」など、「AI」には
できない「人間」にしかできないような「**資質・能力**」の育成を目指し、この「力」
が、今の子どもたちの「**明るい未来を創っていく**」のだと考えているからです。

この「**資質・能力**」は、これまでのような「講義型」の授業形態だけでは育成
することはできません。「聴いて考えて つなげる」学習活動を展開していくこ
とが求められています。つまり「人の話を聴きとり、自分の中で考え、再構成し
て意味づけをした後、他者にそれを伝える」などの過程を通して、知識をつなげ、
考えを深めていくことが求められているのです。

そこで本校では、「コの字形」の机配置、ペア・4人グループでの学習活動、
ポスターセッションによる発表等を積極的に取り入れた学習形態を実施していま
す。また、「総合的な学習の時間」「特別活動」「各種行事」などにおいても、
生徒たちの自主性・主体性を大切にした取組を展開していこうとしています。

将来にわたって必要とされる「**学びに向かう力**」、すなわち「**生きる力**」を育成
していくために、「誰もが夢中になる」ような教育活動にチャレンジしていこうと
考えておりますので、ご理解・ご協力よろしくお願い申し上げます。